

CASBEE-広島（2010年ver.1）
県営吉島住宅2期工事

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります
欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE広島 2009年版
■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
					評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質									3.0
Q1 室内環境						0.40			3.2
1 音環境					2.6	0.15	2.6	1.00	2.6
1.1 騒音					3.0	0.40	3.0	0.40	
1 暗騒音レベル		3.0			1.00	3.0	1.00		
設備騒音対策					-		-		
1.2 遮音		3.0			0.40	3.0	0.40		
1 開口部遮音性能		3.0			1.00	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能					-	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-	3.0	0.20		
1.3 吸音		1.0			0.20	1.0	0.20		
2 温熱環境							3.0	0.35	
2.1 室温制御			部屋形状との関係で可能な限り開口部を大きくした		3.0	1.00	3.0	1.00	
1 室温設定		-			-	-	-		
夏期室温制御設備の設置					-		-		
3 外皮性能		3.0			1.00	3.0	1.00		
4 ゾーン別制御性					-		-		
自然・風食制御					-		-		
個別制御					-		-		
放射冷暖房による配管					-		-		
監視・制御					-		-		
2.2 湿度制御		-			-	-	-		
2.3 空調方式		-	-	-	-				
3 光・視環境					2.5	0.25	3.5	1.00	3.4
3.1 屋光利用					3.0	0.43	4.0	0.50	
1 屋光率		-			-	5.0	0.50		
2 方位別開口					-		0.30		
3 屋光利用設備		3.0			1.00	3.0	0.20		
3.2 グレア対策		-			-	3.0	0.50		
眩しさを軽減する対策					-		-		
2 屋光制御		-			-	3.0	1.00		
3.3 照度		1.0			0.21	-	-		
1 照度		1.0			1.00	-	-		
照度を高める対策					-		-		
3.4 照明制御		3.0	0.36	-	-				
4 空気質環境					3.6	0.25	3.7	1.00	3.7
4.1 発生源対策			使用建材は全てF☆☆☆☆とした		4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		4.0			1.00	4.0	1.00		
ホルムアルデヒド対策					-		-		
放射性物質対策					-		-		
ばいじん・粉塵対策					-		-		
4.2 換気		3.0			0.40	3.3	0.38		
1 換気量		3.0			1.00	3.0	0.33		
2 自然換気性能					-	4.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮		-			-	3.0	0.33		
給気計画					-		-		
4.3 運用管理			-		-				
1 CO ₂ の監視			-		-				
2 喫煙の制御			-		-				
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-	3.0
1 機能性					3.0	0.40	3.6	1.00	3.5
1.1 機能性・使いやすさ			光インターネット環境を整備した		3.0	0.60	4.0	0.60	
1 広さ・収納性					-		-		
2 高度情報通信設備対応					-	4.0	1.00		
3 バリアフリー計画		3.0			1.00		-		
1.2 心理性・快適性		3.0			0.40	3.0	0.40		
1 広さ感・景観					-	3.0	0.50		
2 リフレッシュスペース					-		-		
3 内装計画		3.0			1.00	3.0	0.50		
1.3 維持管理					-		-		
1 維持管理に配慮した設計					-		-		
2 維持管理用機能の確保			-		-				
2 耐用性・信頼性					2.7	0.31		-	2.7
2.1 耐震・免震			配管材料として銅管類の使用は可能な限り避けた		3.0	0.48		-	
1 耐震性		3.0			0.80		-		
2 免震・制振性能		3.0			0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数		2.6			0.33		-		
1 躯体材料の耐用年数		3.0			0.23		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0			0.23		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0			0.09		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0			0.08		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		4.0			0.15		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0			0.23		-		

	2.3 設備の更新					-		-	
	2.4 信頼性				2.2	0.19		-	
	1	空調・換気設備			1.0	0.20		-	
	2	給排水・衛生設備			3.0	0.20		-	
	3	電気設備			1.0	0.20		-	
	4	機械・配管支持方法			3.0	0.20		-	
	5	通信・情報設備			3.0	0.20		-	
	3 対応性・更新性				3.0	0.29	2.8	1.00	2.8
	3.1 空間のゆとり					-	2.6	0.50	
	1	階高のゆとり				-	3.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ				-	2.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり					-	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性				3.0	1.00		-	
	1	空調配管の更新性			-	-		-	
	2	給排水管の更新性			3.0	0.20		-	
	3	電気配線の更新性			3.0	0.13		-	
	4	通信配線の更新性			3.0	0.13		-	
	5	設備機器の更新性			3.0	0.27		-	
	6	バックアップスペース			3.0	0.27		-	
	Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	2.7
	1 生物環境の保全と創出				2.0	0.30		-	2.0
	2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40		-	3.0
	3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30		-	3.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50		-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50		-	
	LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.2
	LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.4
	1 建物の熱負荷抑制				3.0	0.40		-	3.0
	2 自然エネルギー利用				3.0	0.20		-	3.0
	2.1	自然エネルギーの直接利用			3.0	0.50		-	
	2.2	自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50		-	
	3 設備システムの高効率化		高効率機器を可能な限り採用する		4.0	0.40		-	4.0
	4 効率的運用					-		-	-
	4.1	モニタリング				-		-	
	4.2	運用管理体制				-		-	
	LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.2
	1 水資源保護				3.0	0.15		-	3.0
	1.1	節水			3.0	0.40		-	
	1.2 雨水利用・雑排水再利用				3.0	0.60		-	
	1	雨水利用システム導入の有無			3.0	1.00		-	
	2	雑排水再利システム導入の有無				-		-	
	2 非再生性資源の使用量削減				3.3	0.63		-	3.3
	2.1	材料使用量の削減			2.0	0.07		-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.24		-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	杭に高炉セメントを使用する		4.0	0.20		-	
	2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	再生アスファルト混合物		3.0	0.20		-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.05		-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	再生加熱アスファルトを使用する		4.0	0.24		-	
	3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.22		-	3.0
	3.1	有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32		-	
	3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.68		-	
	1	消火剤			-	-		-	
	2	断熱材			3.0	1.00		-	
	3	冷媒			-	-		-	
	LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.0
	1 地球温暖化への配慮		高効率機器の採用に努めた		3.3	0.33		-	3.3
	2 地域環境への配慮				3.0	0.33		-	3.0
	2.1 大気汚染防止				3.0	0.25		-	
	2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50		-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.2	0.25		-	
	1	雨水排水負荷低減	広島市雨水流出抑制に適合させた		4.0	0.25		-	
	2	汚水処理負荷抑制			3.0	0.25		-	
	3	交通負荷抑制	駐車駐輪台数の確保及び適正配置に努めた		4.0	0.25		-	
	4	廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.25		-	
	3 周辺環境への配慮				2.7	0.33		-	2.7
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40		-	
	1	騒音			3.0	1.00		-	
	2	振動			-	-		-	
	3	悪臭			-	-		-	
	3.2 風害、日照阻害の抑制				2.3	0.40		-	
	1	風害の抑制			2.0	0.70		-	
	2	日照阻害の抑制			3.0	0.30		-	
	3.3 光害の抑制				3.0	0.20		-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70		-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30		-	